

島根原子力発電所 点検不備に係る再発防止対策の主な活動状況 (平成 22 年 9 月 22 日現在)

直接原因に対する再発防止対策等

点検計画表不備への対応

点検計画表の修正

- ・2号機第16回定期検査(現在実施中)については、点検計画表の修正を完了し、これに基づく点検を実施中
- ・1号機第29回定期検査(次回検査)についても、点検計画表の修正を完了し、これを基に点検を計画中

業務手順の改善・明確化, 手順書の見直し

点検計画の作成・変更, 工事仕様書の作成手順の見直し等, 点検不備に至った業務手順の改善・明確化を実施

〔主な対策〕

- ・「点検計画作成・運用手順書」の見直し
- ・「工事業務管理手順書」の見直し
- ・部品仕様に関する図書の整備 等

直接原因の再発防止対策(16施策)は全て完了(7月末)

直接原因の再発防止対策(21施策)のうち5施策については、過去の改善活動で対応済み

その他の取り組み

点検計画表の継続的見直し

点検計画表における点検方法, 点検頻度等について, 機器の安全重要度, 劣化要因を考慮して, より妥当性の高い内容に継続的に見直し

<活動状況>

- ・点検計画表における点検方法, 点検頻度等の継続的見直しを検討するワーキンググループを結成し, 活動中

保守管理活動全体を管理する「統合型保全システム(EAM)」の活用

- ・現在開発中のEAMにより, 紙ベースで管理している膨大なデータをシステムで管理

・「原子力強化プロジェクト」は, 発電所と連携して業務プロセスの改善による更なる業務処理の正確性および効率性向上を検討, 実施

<活動状況>

- ・EAMを一部運用開始(不適合・是正処置管理, 懸案事項管理他)(9/1)

点検時期を超過していた機器の健全性評価

- ・2号機162機器の全てについて健全性の確認を終了(7/27)
- ・1号機については, 349機器中139機器について健全性を確認(9/20)

保安規定変更命令への対応

- ・保安規定変更認可申請(8/5), 変更認可(9/6)

根本原因に対する再発防止対策

根本原因

不適合管理

不適合管理を適切, 確実に
行うための仕組みが不足
していた。

マネジメント

規制要求事項の変更に速
やかに対応してマネジメント
できる仕組みが十分でなく
適切な対応ができなかった。

組織・風土

「報告する文化」, 「常に
問いかける姿勢」が組織
として不足していた。

原子力品質マネジメントシステムの充実

不適合管理プロセスの改善

不適合管理が適切に行われ, 不適合の判断が限られた箇所決定されること等がないよう, 不適合管理プロセスを改善

不適合管理を専任で行う担当の設置(6/29)

- <活動状況> 発電所員に対し, 不適合管理の必要性や基準についての教育を実施(7/29, 30)
- すべての不具合情報について検討し処置を決定する「不適合判定検討会」の運用を開始(8/1)
- <活動状況> 不適合と判定した事象を全て当社ホームページ上で公開開始(9/7)

原子力部門の業務運営の仕組み強化

保守管理に関する制度の変更等規制要求の変化に速やかに対応し, 適切にマネジメントできる仕組みを強化

原子力部門の課題を統括し, 検査制度変更等に対応するための全体計画を策定する「原子力部門戦略会議」の設置(7/27)

- <活動状況> 第1回開催(7/27)~第7回開催(9/22)
- 本社, 発電所からなる「原子力安全情報検討会」の設置(7/30)
- <活動状況> 第1回開催(8/13)~第5回開催(9/6)

統括機能の強化および責任体制の明確化のため, 品質保証部門と保修部門の関係課を統括する部を新設(9/7)

原子力安全文化醸成活動の推進

これまで取り組んできた安全文化醸成活動により全般的な改善は図られているが, 不足がみられた「報告する文化」および「常に問いかける姿勢」を中心に充実・強化

原子力部門以外のメンバーで構成する社長直属の組織である「原子力強化プロジェクト」の設置
〔話し合い研修〕

- ・お客さまのご意見等をもとに職場話し合い研修を実施(81グループ, 507人)(7/23~9/3)

<活動状況> グループ毎の行動基準の策定, 地元行事への積極的な参加

〔経営層との意見交換会〕

- ・経営層と所員, 所長と所員等の意見交換から出た意見については, 組織として対応を検討し, その結果を提案者へフィードバックする仕組みを構築

<活動状況> 社長と副社長(8/23), 副社長と係長・主任(8/27), 副社長と課長・課長代理(9/3), 発電所長と所員(課別に適宜実施), 強化プロジェクトと協力会社社員(7/15~27)

〔「わいがやE-ねっと」の構築〕

- ・パソコンを使って気軽に気付いたことを自由に書き込み情報共有化

社外有識者を中心に構成する「原子力安全文化有識者会議」の設置(6/29)

<活動状況> 第1回開催(8/1), 第2回開催(9/12)

地元の方々との対話活動の充実

<活動状況> 技術系社員による見学会対応(7/8~), 地元定例訪問への参加(7/12~), 広報チラシの街頭配布(8/25, 26), 全戸訪問(8/30~9/17)

今回の教訓を風化させないように, 原子力の重要性や地域社会の視点から, 安全文化の大切さを全社で確認する「原子力安全文化の日」の制定(6/3)